

脳の健康ファイルをご活用ください

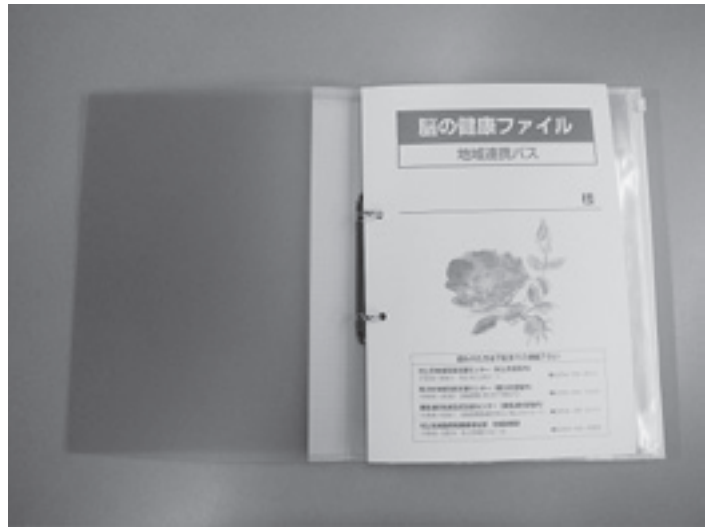
～認知症の人と家族を支える医療と介護～

「脳の健康ファイル」とは？

認知症の人とその家族が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくために、地域の各関係機関がそれぞれの専門性を活かし、連携・協力していくための仕組みとして、「脳の健康ファイル」というものがあります。

このファイルには、本人の思い(楽しいこと、心配なことなど)やこれまでの暮らしぶり、医療や介護保険サービスの情報などが入ります。認知症によって伝えたいことがうまく伝わらない場合でも、このファイルがあれば、本人の大切な情報や気持ちを関係者に伝えることができるようになります。

この「脳の健康ファイル」を使用した医療・介護・福祉の関係者や本人・家族とのネットワークづくりは、村上・岩船地域のほか、新発田地域でも取り組みが進められています。

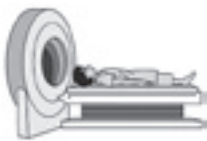


例えばこんなことで困ったら、
かかりつけ医または地域包括支援センターに相談しましょう

- 同じことを何度も言う、聞く
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ
- 時間、日付、場所の感覚に乏しい
- 薬の管理ができなくなった
- 以前はあった関心や興味が失われた
- 水や火の不始末が目立つ
- 財布を盗まれたと言って騒ぐ
- ささいなことで怒りっぽくなった

「脳の健康ファイル」の基本的な流れ

認知症専門医療機関が診断し、治療方針をアドバイスします。



認知症専門医療機関

脳の健康
ファイル



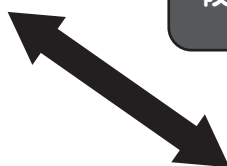
かかりつけ医から認知症専門医療機関に紹介します。



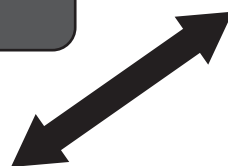
かかりつけ医

あなたの脳に関する情報は“脳の健康ファイル”で各医療機関や介護保険事業所に伝えることができます

脳の健康
ファイル



脳の健康
ファイル



日ごとの様子、認知症状の変化があれば、治療方針に反映させます。



家庭・介護保険事業所等

家族・介護保険事業所とかかりつけ医がファイルで連絡を取り合い、治療や介護に役立っています。

●問い合わせ 介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線365)